

スパイダーウォーク



ADULT ONLY



黒い犬の大車輪 2010

スパイ ダーウ オーク



「はあ…はあ…足りねえ…こんなんじや
全然物足りねえんだよおお！」

バカでかい ふたなりペニス
を持て余しているジュリさん。

日課の尿道オナニーでは
もはや全然満足できません。

ふたなり娘を黽らなければ
もう一度点いた性欲の炎は
おさまらないのです…





早速 永遠のズリネタ熟女の
ゲットに成功した ジュリ。

「おいおい…この粗チンなんだよ(笑)
ぶっとい足してるババアのクセして
チ○ポは小学生並じゃあねーか((爆笑)」

「いやあ…恥ずかしいい…
そんなこと言わないでええ」

「それに比べてどうよ？
アタシの極太チ○ポは？
デカイだけじゃないんだぜ？
硬さもガッチガチだぜえ♪」

「(す…すごい…丸太みたいだわ…)」

「ぶち込んでほしいんだろ？
くっせーババアのおま○こにさあああああ」

「いやアッ、こんなの入ったら壊れちゃうよお」

「ウソつけ！ガバガバなんだろ？
早くチ○ポ欲しくてしょうがないんだろ？
あんたのちっこいチ○ポが期待して
パンパンに膨れあがってるじゃねーか♪」

「いやあ…お願いい…やめてえええ」



「おらおらあ！！どーだ！気持ちいいだろ！？
みっともなくヨガリやがれ！！」

「うほおおおお！すごいいいい！このチ○ポしゅごいいいいい」



ズ
ア
ウ

ズ
ア
ッ



「うほ♪でるう♪」



ビクニビクニ

「てめー 忍者なんだって?
じゃあ 拷問とか訓練して
何にも感じねーのか?」

『な……何をする気! ?』



IP

「ッああああ！！しぬううう！！」

「おいおい…これでも
かなり加減してるんだぜ？
修行がたりないねえ～♪」

IP

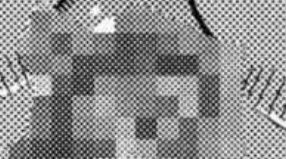
IP

「ひひひひひひひひ
逝くうううううう！んごおお」

ヒ
キ
ク
ク

ヒ
キ
ク
ク

ヒ
キ
ク
ク



ギョルム...

便秘で苦しんでいる
回スにタツプリと
流腸しおむつまで
履かせてあげたジュリ。

どうやら白昼堂々
街中で催してきた
ようです...

じよわああ...


ゴロロ...

「ひひひひひひ
出る出る出るウー！」

脱糞はおろか
はずみで射精する姿まで
大衆の面前に
さらしてしまいました…。

ビュウーッ

フリッ…
フリッ



ついに念願の
雌ブタ奴隷を
3匹も獲得し
ご満悦のジュリ。

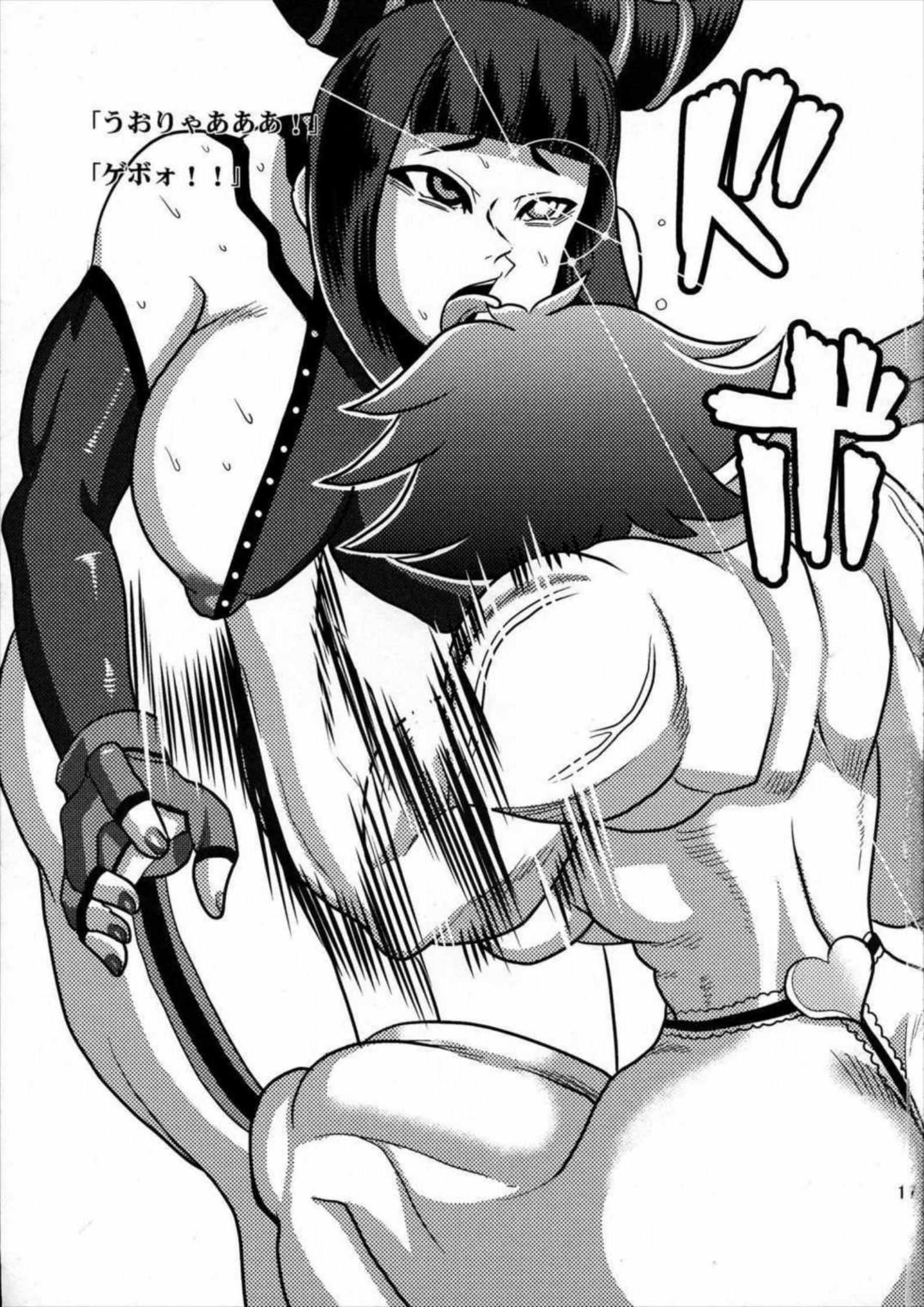
しかし…いつの世も
悪の栄えた例は
ないのです…

正義の味方！
まこっちゃん仮面 参上！
成敗してくれるぜよ！」



「うおりゃあああ!!」


「ゲボオ!!」



「うりやうりや！
どうじゃ！
まいったか！」

「ご…ごめんなさいい！
あたしが
悪かったですらう！」





当然許されるわけもなく、
雌ブタ3人衆からも
容赦なくチンポが、ぶちこまれます。

「コイツ、ずっと目が光ってるよ？
ガチで感じてんじゃないの？」

『じゃあ、ほんとはマゾなんだ！
コイツ！あはははは！』



「ああ…出る出る～」

「よーし！最後は
みんなで
ぶっかけましょう♪」



びゅるるっ

ブビッ!

あとがき

もう無茶がまかない

年なんだなアと

バの底から思いました。

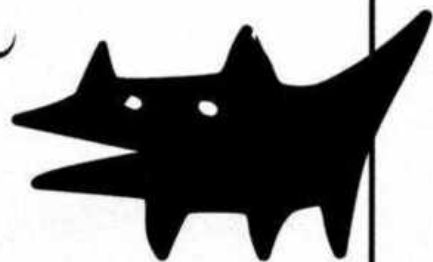
このたびは

お買上げいただき

まことに

ありがとうございます。

では また。 わん



2010 黒い犬の大車輪